



ふっと振り返るとき

情報科 山口 偉史

写真…2012年1月29日に沖縄県の今帰仁城[ナキジンジョウ]跡にて撮影した桜です。

「1月にも桜？」と思われるでしょうが、2012年1月下旬の沖縄は温暖な天气が続き、運良く“日本で最も早い桜”を見られました。これ以来は毎年、年明けから3月頃まで私のパソコンの壁紙は「みんなの“サクラ”も早く咲きますように…」という気持ちで、決まってこの写真です。そして、「1年経ったな…」という気持ちになってその1年をふっと振り返ってしまいます。

「いっぱい行動して、いっぱい経験してほしい」

志成館より前の学校にいた頃から、卒業生に対して毎年言っている、上の一文です。教職員として働く前は、日雇い派遣の仕事や野宿などを経験しました。カギがある部屋で寝られる、誰かが近くにいる、温かいごはんが食べられる…など、「当たり前」だったことが当たり前じゃなくなるとき、それらが実はとても幸せなことだと感じます。また、いろいろな経験から新しい何かを発見できることが、嬉しく感じられるようにもなりました。

2013年4月7日から熊本市民になりました。私は生まれも育ちも福岡市です。かつての私にとって熊本は「旅で行く場所」でした。熊本市民になって最初は発見や戸惑いが多く、今となってはいろいろな理由で福岡市よりも熊本市の方が住みやすく感じます。個人の感想です。

ふっと振り返ると、いろんなことを考えます。写真でも日記でも記憶でも、なんでも構いません。ふっと、いつかのことを振り返ってみませんか。



熊本に住み始めてからの
発見・感じたことなど。

- 水道水がうまい！それで炊いたお米もおいしい！
- 上通り・下通り・新市街の周辺を「マチ」と呼ぶ。
- 当たり前のように『くまモン』。『くまモン』のお土産を他県の友達にあげると喜ばれる。
- 馬肉／高菜／タイピーエンを食べる機会は思っていたほど多くない。
- 燃やすゴミを夜出すのは福岡独特のルール。
- 熊本市内の道路地図は今もよくわからず。
- 「あとぜき」「だご やびゃー！」「ひがばい」「～しとらすと？」「あぎゃんそぎゃん」
…今は全部わかるようになりました。

橋本先生のコミックセラピー

農園療法や音楽療法など様々な活動から癒しの効果が認められるようになりましたが、実はマンガでも証明されるようになって来ました。そんなマンガによる癒しを「コミックセラピー」と言います。

自分が何のために生まれてきたのか、という
問いの答えを知りたい人にオススメのマンガ



さよならソルシェ

フラワーコミックス 全2巻 [小学館]

作：穂積

娘の机の上に置いてあったマンガを何気に読んでみたところ、これが異常に面白かった。というわけで、久しぶりに少女マンガを取り上げてみたい。

今回のオススメマンガは「さよならソルシェ」。前作「式の前日」で短編の名手として数々の賞を獲得した穂積の新作で、『このマンガがすごい！』『2014 年版』オンナ編の第1位にランクインしている。

君たちは“ゴッホ”という画家の名前を一度は耳にしたことがあるだろう。また「ひまわり」「糸杉」などの名画を目にしたことがあると思う。「炎の画家」、「狂気の画家」といわれ、自分の耳を切り落したり、最後は自殺したりして話題に事欠かない。しかしその話が、ある人物によって作り出されたものだとしてら…。

ゴッホの絵を世に残すために自分の人生を捧げたのが弟のテオであることは良く知られている。このマンガの主人公テオは、もともと画家になりたかったが、自分よりはるかに才能に恵まれている兄の作品をみて激しく嫉妬し、結局は画家になることを断念する。ここからテオのゆがんだ人生がはじまるのである。

当時、パリの画壇を支配していた芸術アカデミーは、兄の絵を評価せず、むしろ既成の体制を脅かす存在として弾圧する側に回っていた。このままでは兄の作品が世に出なくなることをおそれたテオは、パリで一番の画商となり、アカデミーの内側からその殻を打ち破ろうとする。体制内の変革が少しずつ進み始めた頃、兄は突然殺人事件に巻き込まれ、命を落としてしまった。

このままでは、世間の注目を浴びないまま兄の作品が埋もれてしまう…思いつめたテオはここから禁断の方法に手を染めることになる。脚本家に依頼して凡庸だった兄に「炎の画家」というイメージを与え、関係者と口裏を合わせ、テオ自身も後を追って死んだように偽装するなどして、あらゆる手段を用いてゴッホという画家に対する世間の注目度を高めていった。

正直、ここまでして兄の作品を世に残そうというテオの気持ちにはついていけないところがあるが、彼が自分の役割をしっかりと果たそうとしたことだけはわかる。人には与えられた役割があり、それを果たそうとすることがその人の生きる意味なのかもしれない。天から才能を与えられたのが自分ではなく兄だったことを知った瞬間から、テオの人生の役割は決められていた。

何のために生まれ、何のために生きているのか、答えは「自分の役割を果たすこと」にあることをこのマンガは教えてくれる。君たちの役割とは何か、このマンガをきっかけとして、ぜひ真剣に考えてみてはどうだろうか。

健康になっていこうプロジェクト 『薬がいない体になる食べ方』(同名著書より抜粋)

頭痛がする、胃が痛む、なんだか風邪っぽい、そんな時に真っ先に考えるのは「薬を飲まなくちゃ」「病院へ行って薬をもらおう」という事だろう。

しかし本当に薬は必要なものなのだろうか。もっと踏み込んで言えば、病気は薬を飲まなければ治らないのか。病院ではいつも必要不可欠にして適切な薬が処方されるのか、私は大いに疑問を持っている。

大胆に言ってしまうと、病気を治すためと考えて飲んでいる薬の「9割はいらぬ」というのが私の薬に対する基本的な考え方である。

薬のもっとも正しい使い方は、言うまでもないが持っている効果を十二分に発揮させることにある。その意味からすれば、現状は殆どの人が“間違った使い方”をしていると言っているかも知れない。

正しい使い方のカギは「栄養」にある。体に必要な栄養を過不足なく、さらにバランスよくとる。そのことで病気に強い体になる。つまり「薬のいらぬ体」に変わっていくのである。

著者：新宿溝口クリニック院長 溝口徹(青春新書)

日	曜	
		
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	①②終業式 / 昼食会
8	土	
9	日	
10	月	①②保護者面談
11	火	
12	水	
13	木	【大学受験科】説明会
14	金	↓
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	【高認受験科】第Ⅱ期終了
21	金	「春分の日」
22	土	
23	日	
24	月	①②登校日
25	火	新入生招集日
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	【大学受験科】新学期プレ講座開講

高等学校

<1・2年生>

■7日 終業式／昼食会

朝 10 時より終業式、その後には大掃除と昼食会を行います。熊本校については、教室移動の準備も行いますので、当日までに不要なものを少しずつ持ち帰るか、荷物を入れる袋を持参してください。

昼食会の食事代は、学校で負担します。

■10～14日 保護者面談

2 月末に実施した本人・クラス担任の二者面談の内容をもとにしたお話、今年度のご報告と今後の進路について面談を実施します。

詳しくは、2 月 17 日付で送付しました案内プリントをご覧のうえ、希望日時を担当または事務局にお早めにご連絡ください。

■24日 登校日

朝 10 時より諸連絡を行います。併せて、熊本校では教室の移動を行います。

<2年生>

■13日 大学受験科 説明会

熊本校にて、大学受験科の平成 26 年度の説明会を行います。3 年次より大学受験科の授業受講を希望する生徒は、必ず参加してください。

大学受験科

2 月以降、一般入試の受験・合格発表が続いています。

すでに志望大学に合格し、4 月からの進学先が決まった生徒もいれば、まだ合格を手にならず、不安な気持ちでいる生徒もいます。早めに合格できた生徒は、気を抜かず4月からの新生活の準備をしなければいけませんし、まだ合格できていない生徒は、「入試のチャンスは 3 月下旬までである！」と開き直って、気を楽にしましょう。気が焦ってしまうと、受かるはずのものも受からなくなってしまう。

通常授業は終わりましたが、質問があれば、気軽に学校に足を運んでください。泣いても笑っても、あと少しです。一緒に頑張りましょう！

高認受験科

現在高認受験科に在籍している生徒達は、体調不良などの理由で、なかなか授業が受けられていない状況ですが、試験があるのは 8 月です。

まだ十分な時間がありますので、体調を整えてから、焦らずじっくりやっていきましょう。

■ 1月末～2月の主なできごと ■

2月11日(火・祝) 高等学院 卒業式



熊本市の熊本県立劇場(大会議室)にて、志成館高等学院の第11回卒業式を挙行了しました。卒業生48名への卒業証書授与、各賞の受賞、歌の斉唱を行いました。

中道久雄学院長は「入学前に色んな葛藤や思いを持っていたと思うが、そういったものからきょう卒業して大きく羽ばたいてほしい」と式辞を述べました。これに対し、卒業生48人を代表して坂口祐人さんが「これから待ち受ける多くの試練を前に新たな一歩を踏み出したい」と答辞を述べました。(『RKK熊本放送』ニュース)

卒業式の挙行に先立ち、**2月7日(金)**に全ての式次第を通した予行練習を行いました。また、校内で行う3年生のホームルームとしてはこれが最後となりました。



予行練習の後には、熊本校近くの中華料理屋さん『儼郷』(レイキョウ)にて3年生の食事会を行いました。



1月31日(金) 「家庭科」調理実習



高等学院2年生が「家庭科」調理実習でだご汁・なますを作りました。このメニューは材料が多く、すいとんの粉をこねたり、野菜を切ったりするのに苦労していました。



作っただご汁・なますは自分たちで食べたほか、クラス担任の先生などにもふるまわれました。

2月21日(金) 総合学習(メディア見学)



高等学院「総合学習」の時間に、高等学院1・2年生が市電に乗り、『RKK熊本放送』社屋の見学に行きました。



普段は見るだけのテレビ番組、その“裏側”をのぞく貴重な機会でした。今後、テレビ番組を見るときには裏側の風景も想像することでしょう。



<「体育」の風景>

「体育」の時間は学校近くの施設に移動し、バドミントンや卓球を行っています。

学年の枠を越えて、同じコートで楽しくプレイする姿がたくさん見られます。

先生たちのつぶやき

卒業式が終わり、3年生の姿が見られないのが、ちょっと寂しい今日この頃です。嬉しかったのが、卒業生の皆さんの出身中学や前籍校の先生方が参列してくださったり、祝詞をいただいたりしたこと。そして、卒業後に進学する先の大学・専門学校からも…。卒業生の皆さんは、いろんな方に見守られてここまで来たんだなあ、そして、これからも見守り続けてもらえるのだなあとしみじみ感じました。1.2年生の皆さんの来年・再来年の姿が今から楽しみです!(^)(清田)

先日卒業式が無事終わりました。ご参列いただいた皆様、お祝いのお言葉を頂戴した皆様、ありがとうございます。卒業式も終わったので、自分も習い事を始めることにしました。それも運動系です。自分くらいの年になるとスポーツニュースの世界では、「ベテラン」「引退」「限界」の言葉が良く出てきます。このままでは、気持ちが先に朽ちてしまいそうなので、無理せず体を動かして、自分が死ぬまで新しい日々を迎えられるようにしていきたいと思っています。(中熊)

大学受験シーズンも一段落。志成館の生徒は一般入試で大健闘してくれました。最後まで勉強を続けた生徒はきちんと成果をあげています。やはり練習は裏切りません。毎日遅くまで学校で勉強していた人、不安に押しつぶされそうになりながらも最後まで投げださずに試験にのぞんだ人、体調不良にもかかわらず直前まで授業に出続けた人、本当に良くがんばりました。

3年生も卒業し、1・2年生は間もなく進級を迎えます。フレッシュな気持ちで新しい年度を迎えてください。在校生のみなさんは新しくこの学校に入った仲間を温かく迎えてください。(橋本)



卒業式が終わりました。今年は例年とは会場も異なり、また少し雰囲気違った式でした。今年の卒業生の中には、感極まった涙も見られました。2月11日で、3年生とはいったんお別れとなりますが、気が向いた時にはいつでも志成館に遊びに来て下さい。

僕も笑顔でおもてなしたいと思います。(岩下)

あっという間に卒業式が終わりました。卒業式当日までは、ちゃんと卒業生を送り出せるのか、不安が一杯でしたが、なんとか無事に式が終わり、ほっとしました。ところで最近、テレビである小学生を取り上げた番組がありました。その男の子は俳句を詠みます。その作品が「ランドセル俳人の五・七・五」という本になりました。小学生が詠んだとは思えないその俳句には、彼の想いがいっぱい込められています。是非、興味を持たれた方は手に取ってみてください。(金丸)

2月11日の「卒業式」で、流れていた中熊先生の愛情入りビデオには卒業生の楽しそうな顔、うれしそうな顔、真剣な顔やらがたくさんあって、思わずジーンとしてしまいました。まだ、少し心配なところもありますが、じっくり自分の目標を目指してほしいと思います。「大学、合格しました!」と言った、うれしい知らせも届いており、春も間近です。(高橋)

「XP」、インターネットやテレビのニュースで最近よく目にします。『Windows XP』の製品サポートが日本時間の2014年4月9日に終了することに伴い、志成館にあるパソコンの多くが「Windows XP」から「Windows 7」に変わりました。2月13日の夕方、古いパソコンの配線を外す作業をしていると、パソコンの本体やディスプレイに対して「おつかれさま」やら「ありがとう」などの言葉をかけている私がいきました。パソコンの前で楽しそうに話していた3年生の姿をふっと思い出し、「ああ…みーんな卒業したんだなあ」という気持ちになりました。

全てのものには始まりがあり、終わりがあり、そして同時に新しい何かが始まります。あるとき、ある物事に対して“新鮮さを感じていた頃”の気持ちを思い出すと、言葉にはうまく表しにくい妙なヤル気を感じるのは私だけでしょうか。初心、いつまでも忘れずに。(山口)

清田先生が新聞に掲載されました。

不登校などに悩む保護者や教育関係者が集まり、孤立しがちな悩みを共有するための座談会を、八代市で開催し7年目。「子どもが元気になるにはまず親から。居場所が必要」と話す。

1月の例会では、中学で不登校だったが、今は海外の高校に留学する男の子が来てくれた。成果の一方で、インターネットや携帯電話の普及で学校の人間

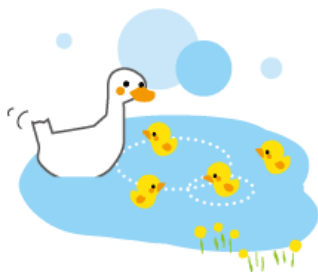
ひと声

親の悩み 共有の場に
ひなたぼっこ会世話人
清田 一弘さん (51)

関係は複雑になっている。高卒資格が得られる技能連携校に勤務している。高校教師時代にカウンセラー担当になったのを機に不登校と向き合った。「保護者の会」を回った。「20代のころはつい生徒にきつい言葉をかけることもあったが、次第に使命感に燃えた」と語る。

例会は奇数月の第1土曜午後2時から、八代教育会館（八代市大手町1丁目）で、「二人で悩まず、気軽に参加を」と呼びかける。
(熊本市中央区)

『西日本新聞』(熊本県版)をご購読の方は、お気付き頂けたでしょうか。平成26年2月22日(土)付の同紙28面において、志成館職員の清田一弘先生の記事が掲載されました。



新しいテレビCMが完成しました。



平成26年1月15日以降、熊本校の校舎にて志成館高等学院のテレビCM撮影を行いました。関係各所のご協力のもと、2月18日にCMが完成しました。

今後、熊本県内の民放テレビ局や、市内中心部の大型ディスプレイでも放映の予定です。“型にハマった学校じゃない♪”とダンサブルな音楽に合わせ、志成館カラーでもあるオレンジ・グリーンのキャラクターがダンスするCMをぜひご覧ください。

校内のパソコンを入れ替えます。

校内のパソコン使用中には飲食を禁止とします。

(※熊本校の情報室内では、飲食を一切禁止)

熊本校(情報室)・八代校にある生徒用のパソコンのうち、『Windows XP』を搭載しているパソコンを、順次『Windows 7』に切り替えています。同時に、『Microsoft Office Word 2013』を生徒用の各パソコンに導入します。

校内のパソコンは個人用ではなく共用であるとともに、機器のスキマに食べものや飲み物が入ってしまうと誤作動の原因となって、他の人に大きな迷惑となります。

また、パソコンのキーボードやマウスには大量の細菌が付着している一説には言われています。この話を詳しく知りたい人は、検索エンジンでパソコン キーボード 汚いで検索してみてください。



※『SHISEIKAN!』通信の挿絵は、『イラストわんぱぐ』(<http://www.wanpug.com/>)のフリー素材を使用しています。



日本航空高校【熊本キャンパス】

志成館高等学院

志成館【高認受験科】

志成館【大学受験科】



〒862-0973 熊本市中央区大江本町7番3号 (味噌天神バス停徒歩0分/味噌天神となり)

TEL 096-366-1008 FAX 096-371-3871 ホームページ URL: <http://www.shiseikan.net>

ご意見・ご感想をお聞かせください。

メール: shiseikan2shin@gmail.com